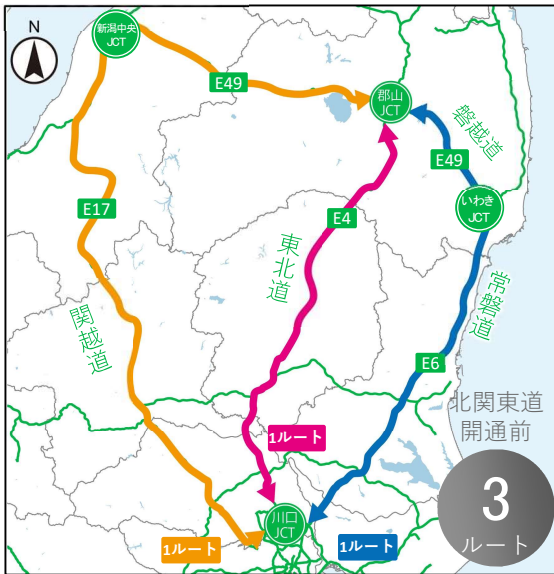


広域的な高速道路ネットワークが拡充

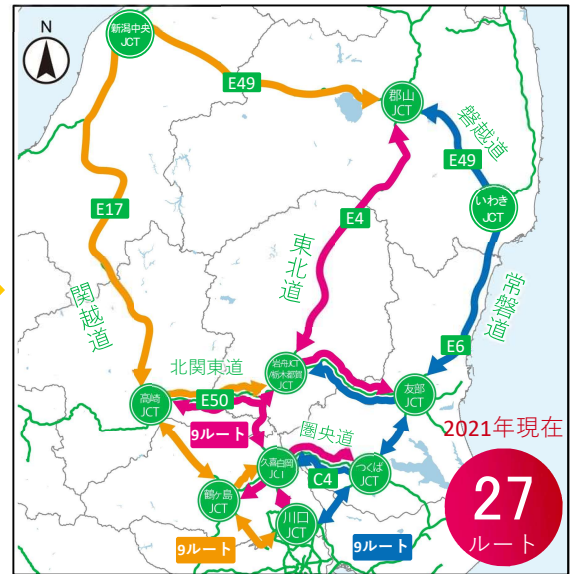
関越道、東北道、常磐道と接続することで、高速道路ネットワークが拡充。多様なルート選択により、**災害時のリダンダンシーの確保や渋滞回避が可能に！**

川口JCT～郡山JCTの移動ルート例

●北関東道開通前



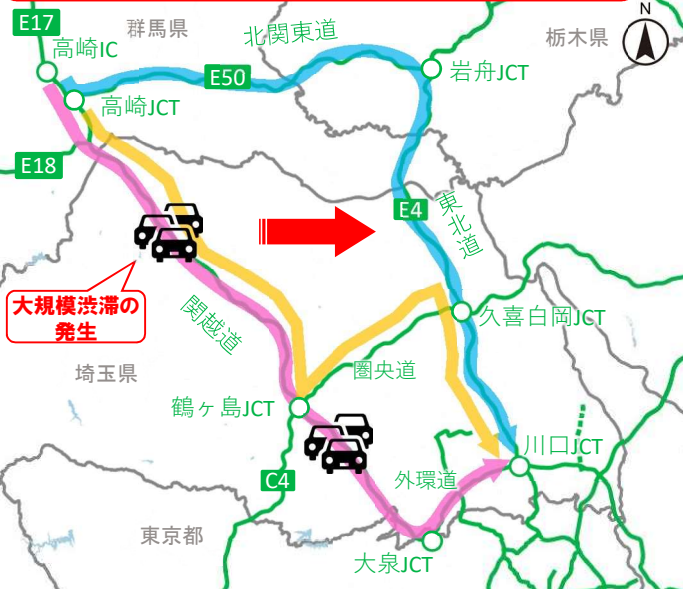
●2021年現在



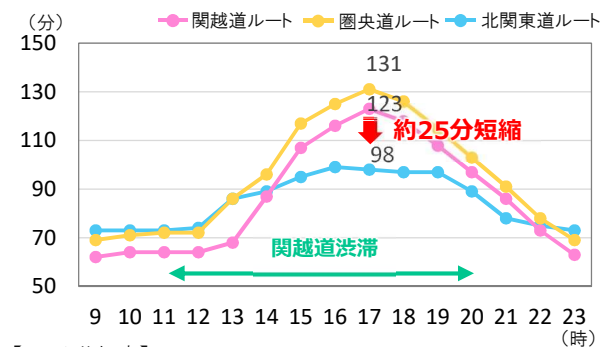
渋滞時の北関東道利用による時間短縮

●関越道からの迂回ルート

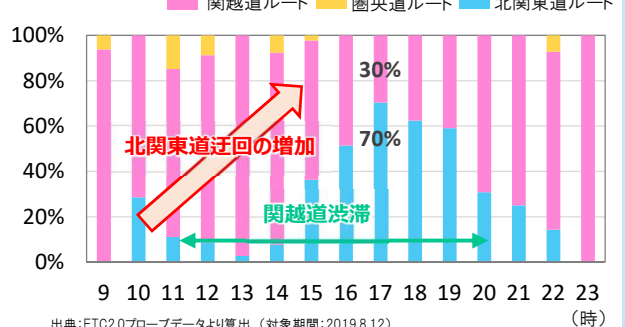
関越道の大規模渋滞発生時、北関東道へ迂回することで、所要時間が最大約25分短縮。最大約7割の車両が北関東道経由を利用。



【所要時間】



【ルート分担率】



関越道ルート: 高崎IC→関越道→大泉J→川口J【97km、普通車・通常料金3,770円】
 北関東道ルート: 高崎IC→北関東道→東北道→川口J【116km、普通車・通常料金3,420円】
 圏央道ルート: 高崎IC→関越道→鶴ヶ島J→久喜白岡J→川口J【97km、普通車・通常料金3,420円】

出典:ETC2.0プローブデータより算出(対象期間:2019.8.12)
 ※ルート分担率は各ルートを通じたプローブ車の比率
 ※所要時間は経路を問わず全プローブ車の平均空間速度より追跡時刻とで算出